



議会だより



グループホームにて

第3回 定例会

9月8日～12日

電力料金再値上げの撤回を求める 意見書を採択

9月定例会は9月8日に開会し、町長一般行政報告に続き4名の議員が8項目について一般質問を行いました。その後、財政健全化判断比率等の報告、平成25年度の各会計決算認定を決算審査特別委員会に審査付託（9日から11日までの休会中に審議。審議内容は16点）、補正予算など10件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

本会議は、12日に再開し、条例制定、人事案件、決算認定など18件を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

平成25年度決算認定

○一般会計・5特別会計
○病院事業会計

一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計決算は、決算審査特別委員会を設置して審議した結果、本会議において各会計とも原案のとおり認定しました。

平成26年度補正予算

○一般会計補正予算
(第3号)

主に歳入では普通交付税確定に伴う減額、がんばる地域交付金、ふるさと応援寄附金、平成25年度繰越金確定に伴う追加。歳出ではふるさと応援基金積立金、がんばる地域交付金事業、生涯学習センター備品並びに図書一式、町民プール整備実施設計業務の追加によるものです。

○病院事業会計補正予算
(第1号)

主に北海道厚生局及び北海道の個別指導による診療報酬の返還と、江別市立病院からの医師派遣経費の追加によるものです。

○下水道事業特別会計補正
予算(第1号)

主に歳入では前年度繰越金確定による一般会計からの繰入金金の減額。歳出では晩翠汚水中継ポンプ場汚水送水ポンプ修繕費の追加によるものです。

○国民健康保険特別会計
補正予算(第1号)

主に歳入では平成26年度一般被保険者並びに退職被保険者分保険税の減額、保険給付費増額に伴う国庫支出金・道支出金等及び平成25年度繰越金確定に伴う追加。歳出では一般被保険者に係る保険給付費並びに基金積立金の追加によるものです。

○介護保険特別会計補正
予算(第1号)

主に歳入では平成25年度繰越金確定に伴う追加。歳出では保険給付費並びに国庫支出金等精算金の追加によるものです。

条例制定等

○南幌町家庭的保育事業等の
設備及び運営に関する
基準を定める条例(制定)

○南幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(制定)

○南幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(制定)

子ども・子育て支援制度が創設され、国の基準を踏まえ市町村が条例で基準を定めるため制定するものです。

質疑

議員 南幌町家庭的保育事業等の条例では、本町の実態から申し込みが予想されるのか。

保健福祉課長

本町では幼稚園1カ所、保育園1カ所の2カ所の事業所で保育できている状況で、現在事業者の申し出はありません。



○南幌町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例(改正)

○保育の実施に関する条例(改正)

関係法令の一部改正に伴うものです。

○道央地区環境衛生組合の解散

○道央地区環境衛生組合規約の変更

解散することについて関係地方公共団体として協議を求められたため。

○北広島市へのし尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務委託

北広島市へし尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務を委託するため。

○北海道市町村職員退職手当組合を組織する団体の増
加及び北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

人事案件

○教育委員会委員の任命

磯野 薫さん(64歳再任)
北町2丁目

その他

○南幌町財政健全化判断比率等の報告

平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について報告がありました。

○教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

平成25年度の教育委員会の活動状況に関する点検・評価について報告がありました。

○町出資法人の経営状況報告

南幌町土地開発公社経営状況並びに清算終了、(株)南幌振興公社の経営状況について報告がありました。

契約関係

○工事請負契約(変更)

契約目的 農村環境改善センター耐震等改修(建築)工事
契約金額 5,303万円
契約先 勝井建設工業(株)

契約目的 元町団地町公営

住宅改修工事

契約金額 6,415万円

契約先 武田建設工業株

意見書

次の意見書を採択し、各
省庁等へ送付しました。

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 「手話言語法」制定を求める意見書
- 電力料金再値上げの撤回を求める意見書

第3回
臨時会
7月28日

第3回臨時会は、補正予算1件が提案され、原案のとおり可決しました。

平成26年度補正予算

○一般会計補正予算
(第2号)

南幌中学校の中体連全道大会出場に伴う部活動補助金を追加するものです。

一般質問

4人の議員が一般質問に立ち
町長の考えをたどりました

問 英語・英会話教室実施の考えは

答 前段階として生涯学習サポーター・
学校支援員の登録を

菅原 文子 議員



菅原議員

中学生国際留学プログラム事業として、4名の生徒がカナダに留学しました。

①現地でのプログラム内容は、また、初年度として生徒の様子とプログラムを把握するため、最後まで職員が同行するべきではなかったのか。

②事業実施により、本町でも英語検定試験を受ける小・中学生が増えたと報告がありました。小学生が独学で英語検定試験に合格することは、かなり難しいと思います。総務省では人材育成を目的としたALT（外国語指導助手）の活用を推奨しています。国際留学プログラム事業を見据え、児童・生徒間の格差をなくすためにALTを増員し、町で英語・英会話教室を実施する考えは。

③コミュニケーションをとる言語としてよりも、英検取得など点数を取るための英語を学ぶようになること危惧していますが、教育長の考えを伺います。

教育長

①大学での英語語学研修、ホームステイ、地元の中・高校生との交流や保育園訪問、ショッピングセンターでの市場価格調査などを体験しました。

職員については、周辺環境、研修内容を確認した後、先に帰国しました。昨年8月まで勤務していたALTが生徒と交流したり、現地に精通し生徒と面識のあった添乗員により、リアルタイムに映像で情報をいただき各家庭に配信しました。

②ALTの増員は現段階では考えていません。町内の英語・英会話にたけた方に生涯学習サポーターや学校支援員に登録いただき、少しでも英語を身近に感じてもらうことが前段階としてやるべきだと思っています。学校教育との絡みもあり、模索していきます。



町政を知る良い機会

議会を傍聴しませんか！
第4回定例会は12月開催です。

※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー並びにホームページでご覧になれます。

ホームページアドレス

<http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/>

り、模索していきます。
③点数優先ということではなく、子どもたちがみずから学びその力を発揮できるように考えていきます。

問 子育て世代への住宅支援について

答 次期総合計画の策定時に検討

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

南幌をふるさとに持つ子育て世代がウターンし新しい家庭を築き、生まれ育ったこの町で子育てしたいと思えるようになるためには、安心して子育てできる住環境が大切と考えます。
①本町の子育て支援住宅は不足していると思うが、増設の考えは。
②今後、新築や住宅購入者に対して、固定資産税の減免や免除などを取り入れる考えは。
③民間賃貸住宅に入居している子育て世代に対する家賃助成の考えは。

町長

①現在4戸の共同住宅を提供しています。次期総合計画の策定時に、町公営住宅の建設計画にシルバーハウジングとあわせて子育て支援住宅供給の検討を行っていきます。
②既存住宅での子育て世帯との税負担の公平性などから難しいと判断します。
③家賃助成については、本町の住宅特性に合った支援策を次期総合計画策定時に町公営住宅の建設計画とあわせて検討を行っていきます。

その他の質問

問 放課後子ども教室推進事業について、本町では平成20年からあそびの達人教室を実施しています。
①年々参加者が増え活動スペースが狭くなっている状況と思われるが、今後の対応は。
②あそびの達人教室に限定したボランティアの募集が必要ではないか。

教育長

①今後、参加者が増えた場合は、余裕教室や特別教室の活用を考慮し実施します。
②本事業は幅広い人材を活用しており、今後も生涯学習サポーターの確保に努めます。

問 空き家対策条例の必要性の認識は

答 条例化の検討を行う

志賀浦 学 議員



志賀浦議員

近年、道内の市町村では空き家対策条例を制定する動きが加速している。空き家が地域の防犯、防火に影響を及ぼすこと、景観的にも町のイメージを損なうため何らかの対応が必要と思う。
①これまでに空き家対策条例等について検討を行ったのか。
②町内の空き家の実態を把握しているのか。
③対象家の所有者に修繕、解体などを講ずるよう促したか。
④一部撤去した所があるが費用の捻出方法は。
⑤この2年間、道路管理者から指導はなかったのか。また、今回の措置は指導によるものか。

町長

全国的に空き家が増加し各自治体においても独自条例を制定し、抑止の効果も上げています。本町においても、相続人が居住しないなどにより空き家が発生しています。
①第5期総合計画・後期基本計画策定時に、空き家の適正管理の推進について協議しています。また、国で特例措置の法制化を進める情報もあることから、条例化の検討を行います。
②消防の防火査察や税務課の家屋調査で、68力所ほどの空き家があると推察されます。廃屋か一時的な空き家かの判断が困難ですが、関係課連携のもと実態把握に努めます。
③廃屋管理者に対し、面談、啓発チラシの送付、訪問など粘り強く続けています。
④廃屋管理者の同意を得て、応急的な飛散防止措置を講じ、費用は発生していません。
⑤道路管理者からは指導がありました。また、今回の措置は大型台風が来るとの情報のもと、二次災害にならないための緊急措置をとりました。

問 学校給食費を無料化に

答 現段階では考えていない

熊木 恵子 議員



熊木議員

近年、少子化対策の一環として学校給食費の無料化や一部助成に取り組む自治体が増えつつあります。

①本町で実施している子育て支援施策の幅を広げることとは子育て世帯層の移住や永住に大きくつながると思うが、無料化に取り組む考えは。

②学校給食にかかる消費税増税分の食材料費の影響額並びに今後の給食費の値上げについては。

③子どもを取り巻く環境は貧困と格差が生じていると全国的に問題になっているが、本町の子どもの生

活実態に影響が出ていないか伺います。

町長

①子育て支援策のひとつとして、平成23年度より給食用米の費用は町が負担しています。今年度は163万円が見込まれており、さらなる給食費の無料化や減額は現段階で考えていません。

②消費税が8%に改定されたことに伴う影響額は年間92万円見込まれます。本年度は値上げを行わず、町の賄材料費の中で負担し献立の水準を維持していきます。今後さらなる増税や賄材料の価格変動等により、給食費の改定が必要と見込まれる場合には、町学校給食運営委員会への諮問を経て決定します。

③本町の子どもの生活実態の影響については、要保護世帯の給食費は生活保護費の中に、準要保護世帯については国の就学援助制度の

中で全額援助されており影響はないものと考えます。

その他の質問

問 灯油価格が高騰し冬季生活を迎えることへの不安の声が聞かれるが、今年度も灯油購入費助成事業を実施するのか。また冬季生活支援としての施策は。

町長 灯油価格の推移を見守りながら、より一層の事業効果が図られる助成事業となるよう見直し検討しています。冬季生活支援については、除雪作業が困難な方を対象とした除雪サービス事業を継続実施していきます。

問 住宅情報の窓口開設を

町長 今後、町ホームページで空き家・空き地情報制度の拡充を含め、北海道宅地建物取引業協会や民間不動産業者との協議を進めます。

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの全額助成を

町長 予防接種法の改正

により10月1日から定期予防接種となります。これまでどおり半額助成を実施します。

委員会活動

両常任委員会合同現地調査

○町理事者、職員の随行により、道央圏連絡道路、生涯学習センター等の現地調査を行いました。



道央圏連絡道路



生涯学習センター

総務常任委員会

○道内政務調査について協議しました。

産業経済常任委員会

○道内政務調査について、道路・橋梁・排水路等の修繕計画について協議しました。

議会運営委員会

○定例会の運営、意見書の取り扱いについて協議しました。

活性化特別委員会

○町民プール、町立病院について協議しました。

全員協議会

7月16日

○町立病院四半期報告について、バイオマス産業都市構想について協議しました。

8月25日

○町民プール基本設計の進捗状況について、夕鉄バスの減便について、他9件について協議しました。



総務・産業経済常任委員会

合同所管事務調査報告

総務・産業経済両常任委員会は、道内先進地事例を研究するため、7月10日～11日、常呂郡訓子府町と置戸町において、まちづくりの取り組みなどを調査しましたので概要を報告します。

訓子府町

自主的なまちづくりの活動支援

総務常任委員

熊木 恵子

町民税1%活用制度

〇わくわく地域づくり活動支援事業

・野外ふれあいコンサート
・子育てを楽しむセミナーなどを実施。

〇地域活性化チャレンジ事業

・障がいを持つ人の就労の場の確保やシソ飲料事業の立ち上げ、農家によるじゃが芋のスノーマーチ販売促進事業を実施。

高齢者の足の確保対策

通院バス運賃補助制度や、75歳以上の方に町内移動のためのハイヤー料金を550円とする制度を創設。また、陸別・北見間を運行するバスの一定区間を一律300円で利用できる制度も実施。(1人月4枚まで)

温水プールの調査

平成7年のオープン以来、幼児から高齢者まで年

間2万人以上(25年度実績・4月末から11月上旬)が利用し、広々としたプールは2階に研修室なども備え活用されています。施設内の暖房も大切だが西陽対策に苦慮し、西側にブラインドと換気をしないと室内が暑すぎるのことから、本町のプール実施設計に生かすことができれば良いと感じました。



訓子府町温水プール

置戸町

住民参加によるまちづくり

産業経済常任委員

内田 恵子

地遊人(農村生活体験生)

田舎暮らしや農業体験な

どを通して、置戸町の再発見を手伝ってもらい、地域を活性化するために平成3年から始まり、これまで25人が定住につながりました。(結婚は19人)

〇応募資格 20歳から40歳までの健康な人
■滞在期間 (毎年4月から翌年3月まで)
農業体験約100日

■公的活動 地域行事や町の産業への参加を通して、広い視点で観察し理解と交流を深めます。
〇生活費の助成
■月額7万円(冬期間は5万円の暖房費助成)

元気なまちづくり活動支援補助金

第5次町総合計画の推進とまちづくり基本条例が理念とする住民参加による協働のまちづくり活動を後押しする制度として創設。

〇補助金額 補助対象経費の2/3以内で限度額は20万円。補助の交付は同一団体同一活動

につき3回までとし、申請は年度ごとに行う。

〇補助対象活動

■町内で実施する活動

■地域の課題等に自主的に取り組む活動や地域活性化等につながる活動

■環境・福祉・文化・スポーツ等、各分野における町民を対象としたまちづくり活動

■その他、町長が対象と認める活動

以上のことから、我が町でも第5期南幌町総合計画・後期基本計画の新規事業に(仮称)町民等提案型まちづくり支援事業(H27・H28)があるので、議会としてもしっかりと協議、検討、検証します。



置戸町役場にて

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成25年度各会計決算を認定

第3回定例会において、一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計の25年度決算をいずれも決算審査特別委員会（志賀浦委員長ほか委員7名）に審査付託されました。決算審査特別委員会は、9月9日から3日間の日程で開催され、賛成全員で「原案のとおり認定すべきもの」と決定し、報告されました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員 街路灯等設置補助について、各行政区の防犯灯は何灯LED化となっているのか。また、今後の電気料値上げの対応は。

住民課 防犯灯は全町826灯のうち本年度でLED化となったのは21灯です。電気料に関しては、契約単価の安いLEDを推奨していきます。

委員 北海道住宅供給公社の用地は札幌などにも多数ある。近隣と同じ坪単価で鉄道がない本町は不利な状況で、子育て施策や若者が償還しやすいローンの設定など特色ある政策を打ち出し販売促進を行っては。

まちづくり課 子育て世帯、高齢者世帯については30%の割引を、26年度は町内の就労者やUターンした方を

対象に30%の割引制度を新たにを行っています。坪単価の引き下げは難しい状況ですが、今後も割引制度を活用して他自治体との差別化を図っていきます。

民生費

委員 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果の主な内容は。

保健福祉課 ニーズ調査については今年の1月に0才から小学6年生までの家庭を対象に実施しています。特に多かった項目は公園関係で、水場で遊べる公園の整備。町立病院の小児科が無くなったことへの不安、不便という意見。その他子育て全般、学童保育関係等の意見がありました。

委員 社会福祉協議会に関するボランティアの方も高

齢化してきている。今後の募集方法は。
保健福祉課 ボランティアのなり手は増えていかない状況です。研修事業やボランティアフェアスタ等で新たな加入促進を図るとともに、北海道社会福祉協議会で実施している研修事業への参加も積極的に啓発していきます。

農林水産業費

委員 有害鳥獣駆除の状況と、猟友会の会員が少なくなっている中での近隣との連携は。

産業振興課 駆除の頭数はその年により差はありますが、潜在的な個体数はかなり多いと思われます。会員については高齢化により減少状況ですが、今後近隣とも連携して鳥獣駆除に取り組んでいきます。

商工費

委員 高齢者の詐欺被害が多発しているが、本町での相談実績は。

産業振興課 悪徳商法や訪問販売について9件ほど相談がありました。専門的な

ものについては、栗山町の相談室に相談し対処しています。

土木費

委員 三重湖公園の水遊び場で滑っての事故の報告は。また、三重レークハウスにAEDを設置する考えは。

都市整備課 水遊び場での事故報告はありません。滑り止め対策については、新たに塗装することを検討しています。AEDについては指定管理者側と設置に向けての検討を進めています。



教育費

委員 南幌高校は少子化などから存続の危機に立たされていると思う。道内でも特色のある学校づくりを行っている高校がある。今後の施策は。

生涯学習課 南幌高校振興協議会助成事業として南幌高校の取り組みを支援しています。みなさんから声を出していただいて、どういう応援ができるのか検討していきます。

下水道事業会計

委員 下水道使用料の滞納については長幌上水道企業団で徴収を行っているというのだが、本町職員も同行しているのか。

都市整備課 19年に長幌上水道企業団と徴収に関する委託契約を締結しており、町内の滞納分については長幌上水道企業団が、転出者の滞納分については町職員も同行し訪問徴収を行っています。公債権という立場から、今後も各部署と連携をとり対応していきます。

介護保険会計

委員 一次予防事業費の快足シヤキツと倶楽部の参加者の男女比と交通手段は。

保健福祉課 女性の参加者が多い状況ですが、男性参加者が口コミで増えており、あいくる、ふれあい館ともに男性が1/3の比率です。巡回バスで来られる方もいますが、交通手段が無く来られないという意見もあります。第6期介護保険事業計画のニーズ調査でも多く出ていた意見なので、今後の課題と考えています。



病院事業会計

委員 病院建物について地盤沈下による亀裂、段差解消の整備計画は。

町立病院 建物は年数が経っており、大規模な修繕は借入等にて対応しているかなければならないと思います。必要な部分は改修することです。町と協議していきます。

委員 病院単体ではなく医師、看護師も含めて、保健福祉課と連携を密にして訪問診療を増やしていく考えは。

町立病院 保健福祉課との連携は訪問診療に限らず行っています。26年度は医師が保健師と連携し老人会で講演を行ったり、保健福祉課の事業に医師が参加して積極的に高血圧等の情報提供をしています。

まちのがんばりやさん

議会だより表紙の「南幌町で頑張る人」を紹介します。



とうかわ かずえ
東川 一枝さん（北町在住）

町内のグループホームでお世話を始めて6年が過ぎました。

「施設みんなが毎日笑顔で心地よく過ごしてもらえるよう、また家族と一緒にいるような気持ちで毎日を過ごしていただけるように、一人一人に合ったケアを心がけています」と語ってくれました。

東川さん自身も親の介護を通して学んだ事を、今度は地域のために役立てたいと介護の道を選ばれたようです。優しいまなざしと、明るい笑顔で見守る東川さんやスタッフの皆さんの姿がとても温かく印象的でした。

議会広報委員：佐藤 妙子

議員研修

議会広報研修会

北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が8月22日に札幌市で開催され、広報委員4名が参加しました。

広報コンサルタント芳野政明氏による道内8議会の広報誌の実例を用いた研修が行われました。研修内容を今後の議会だよりに生かしていきます。